

ス。レーヨンの性質はそのままに繊維表面に撥水加工を施した。PHコントロール機能や消臭機能もある。世界的な「脱・プラスチック」の流れを受けて、新たな素材として衛材分野で認知度を高めている。

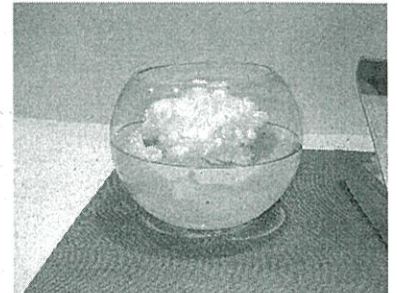
海中での生分解性が

アクシス(東京都千代田区)は、環境対応のスパノンド不織布(SB)の提案を強める。植物由来樹脂を原料とするSBを開発し、2020年度(21年3月期)から本格販売に入る。生分解性を持ち、有機ごみと一緒に廃棄することが可能なほか、耐熱性や柔らかな風合いも特徴で、農業資材用途を中心に拡販を進める。

土の中で分解されるプラスチックのポリブチレンサクシネート(PBS)を原料としており、今回開発したSBはPBSの約50%が植物由来。タイの石油会社と日本の化学メーカーの合弁会社(タイ)から原料の供給を受け、兄弟会社のアドバン

### 環境保護

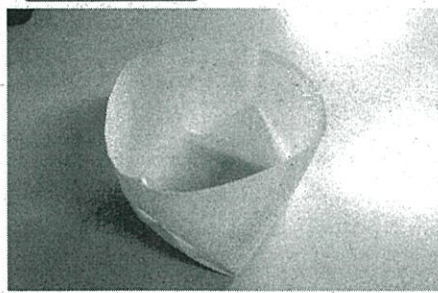
後、ニーズが高まりそうだ。今年に入ってから世界的に広まった新型コロナウイルス感染症で、抗ウイルスや抗菌機能繊維の需要が高まる可能性がある。



撥水(はっすい)機能で水に浮かぶエコリベラス

## 植物由来原料のSB展開

アクシス



バイオPBSSBを使った育苗ポット

バイオPBSSBは30℃の土中で分解する。ポリプロピレンSBと比べると価格は高くなるが、生分解性や耐熱性(120℃以上)、ヒートシール性は遜色がない。有機資源由来物質を所定量以上含むバイオマスプラスチック製品を識別するための「バイオマスプラグリーンラベル」の認証も取得している。

育苗ポットやマルチン

20年度から農業用途などへ

「ハ」の字形に配置することで、針の方向性による感度差を抑えた。検針部はトンネル状のため、厚さによる検針感度の差が少なく、ミシン針の糸穴から先の折れ針が検出できる。対象は、婦人、紳士、子供服などに加え、パジャマや肌着までカバ

宇部エクスシモは、不織布用原綿の展開で産業資材分野を深耕する。液体フィルムとエアフィルム向けに重点を置き、ポリオレフィンコンジュゲートわたなどの高付加価値品を積極提案する。主力の衛生材料向けの維持にも取り組むことで全体の成長につなげる。

2019年度(20年3月期)の販売は、紙おむつなどの衛材用途の需要減少が響いている。産業資材用途は、米国の通商問題に揺れた中国向けが減速したものの、全体としては横ばいで推移している。衛材用途の急激な回復は難しいとみて、20年度も産業資材用途での販売拡大に引き続き力を入れる。

宇部エクスシモ

## 産業資材用途を強化

液体フィルムターではホリオレフィンコンジュゲートわたの「エアリモ」の提案を強める。鞆部に低融点樹脂、芯部に高融点樹脂を用いた芯鞆複合繊維でありながら、繊維0.2ミクロンを実現した。業界での認知度向上や適用範囲の拡大を図る。

製品開発は継続強化する方針で、福島県郡山市の先端繊維研究所を基盤に進める。



差別化原綿が軸

エアフィルムターでは「UCファイバ」が主流。芯部にポリプロピレンを、鞆部にポリエチレンを配した熱融着複合繊維で、不織布加工時の熱

## 高精度

ノハウから生まれた探知電極は、設置周辺の金属からの影響が及ぶ範囲を縮小した。

ハンディー検針器「T-Y-30」は、繊維品に混入した鉄製の針、折れ針を探索する。コンベヤの2レンジ。高感度仕式検針機やテーブル型検針器で針、鉄片を探索し

た後で、混入の位置を確認するのに適している。スリムで軽いハンディータイプ。ワイド、スポツトの2レンジ。高感度仕様の「T-Y-30K」も品ぞろえに加えた。



## 不織布の更なる可能性を求めて

オリジナル技術から生まれた当社の機能性商品は、グローバルな環境対応性と機能性を有しています。